

「ダメ！」から「 」へ変えるだけ！

たった**ヒトコト**で、

その日から

劇的に子どもの

反応が変わる

“**共感**” 子育て法

ママの心を “ふわっ” と軽くする

2歳3歳専門の子育てアドバイザー 広瀬つみき 著

はじめに

こんにちは。

2歳3歳専門の子育てアドバイザー、広瀬つみきです。

この度は、テキストをお手に取っていただき、ありがとうございました。
毎日の子育ての中、特に、「魔の2歳児」、「イヤイヤ期」と言われる時期の子育ては、本当に大変ですよ。

僕のところには、毎日たくさんのメールや、ブログのコメントなどが寄せられます。

みなさん、いろいろなことで悩み、苦しみ、そして、「自分はこれでいいのだろうか？」「怒りたくないのに怒ってしまって、子どもが傷つかないだろうか？」そんな風に悩んでいらっしゃると思います。

このテキストでは、

- ・なぜ、イヤイヤ期が起こるのか？
- ・そして、お子さんに対して、どのように対応すれば、ママであるあなたも、お子さんも、そしてパパも笑顔になれるのか

ということについて、書いていきます。

できるだけわかりやすくお伝えできるように書いていきますので、最後までどうぞお読みください。

目次

はじめに

【第一章】イヤイヤ期はなぜおこる？

【コラム 1】できる子はいない、時間がかかるだけ

【第二章】対応次第で変わる子どもの将来

【第三章】減点法と加点法

【コラム 2】子どものやる気をなくさせる【7つの大罪】

【第四章】イヤイヤ期の対処法、3つのポイント

【第五章】お子さんの意見を聞いていますか？

【コラム 3】「たかがひがそ」の子育て法

【読者さんからの質問コーナー】

・そうは言っても怒ってしまうのですが・・・

【第六章】天国のうどんの話

【第七章】ママ、自信を持っていますか？

【第八章】パパの操縦法

おわりに

第一章

【イヤイヤ期はなぜおこる？】

2歳くらいになると、お話が上手にできるようになることと、自由に体を使って走り回れること、それからおもちゃなど、いろいろなものが使えるようになるなど、目覚ましい変化が出てきます。

実は、赤ちゃんの時から、ハイハイができたり、喃語から、一語文になったりと、変化はあるのですが、ママを困らせるとか、手に負えなくなる、というレベルではないので、大丈夫だったのです。

それが、2歳くらいになって、お話が上手になると、「イヤ!」と言ったり、「したくない!」というように、自分の言葉で意思表示ができるようになってくるんですね。

赤ちゃんのころでも、「泣くこと」で同じようにアピールはしていたのですが、言葉で言われると、なぜかイラっとしてしまうんですね。

「自分の思っていること、したいこと、したくないことを言葉や体で伝えるようになる」

よく、育児書では、「自我の目覚め」なんて書いてありますが、これが、「イヤイヤ期」の正体です。

第二章

【対応次第で変わる、子どもの将来】

さて、そんなイヤイヤ期の中、あなたは、どのようにお子さんに対応していますか？

例えば、

- ・ご飯を食べてくれなくて、イヤイヤをするとき

「ちゃんと食べなさい！」

と叱っていませんか？

- ・おもちゃを欲しがってダダをこねるとき

「今日はダメって言ったでしょ！」

と言っていないですか？

怒りたくないけど、つい怒ってしまう。

そして、怒ってしまった自分に自己嫌悪。

これは、本当に多くの方が悩んでいることです。

でも、

「じゃあ、なんて言えばいいの??」

「何を言っても聞いてくれないんですけど」

そこが、悩みが一番のポイントではないかと思います。

その具体的な方法は、後で詳しく書いていきますが、
まず、あなたがどんな風にお子さんを見ているのか、ちょっと見つめ直してみ
てください。

「言うこと聞いてくれない子」

「子どもだからワガママ」

そんな風にみていないでしょうか？

では、お子さんが産まれてきたときのことを思い出してみてください。

「あー、かわいい。この子を一生守ってあげよう！」

と思ったのではないのでしょうか？

その赤ちゃんは、「しゃべる」わけでも、「歩く」わけでもないですよ。

ただただ、その存在自体を嬉しく思っていたはず。

本来、そのことは、お子さんが、2歳になっても、3歳になっても、小学生になっても、そして、大人になっても変わることがないはずなんです。

でも、思い通りにいかないから、
子どもを叱ってしまう。

そういうことです。

心のどこかで、

「こんなに大きくなったのになんでできないの？」

「私が大人なのに、ちゃんと教えられないからダメなんだ」

という気持ちがあるのではないのでしょうか？

そうではないのです。

子どもというのは、本当に純粋な存在です。